真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	公共施設等総合管理計画推進事業	担当課・係	総務部　財政課　財政課管財係
政策名　No	7　「行政経営づくり」～効率・効果アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	3　安定した行財政運営		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
財政力指数	—						
経常収支比率	%						
自主財源比率	%						

事業内容

①公共施設再配置計画の推進
令和７年度　科学教育センターの改修工事、シルバー人材センター、ｼﾙﾊﾞｰ西側事務所、青年女性会館の解体設計、総合福祉保健センターの改修設計
令和８年度　シルバー人材センター、ｼﾙﾊﾞｰ西側事務所、青年女性会館の解体工事、総合福祉保健センターの改修工事、芳賀地区広域行政センターの解体設計
令和９年度　芳賀地区広域行政センターの解体工事、さくら作業所・地域活動支援センター新築設計、さくら作業所解体設計
令和１０年度さくら作業所解体工事
②廃校の有効活用の推進
旧高田分校は、歴史保存資料館として活用している。
旧長沼北小は、社会福祉法人に貸付し、障がい者福祉施設として活用している。
旧コンピューターカレッジは、芳賀広域行政事務組合等に貸付している。
旧中村東小は、民間事業者に貸付し、留学生向け日本学校として活用している。
旧東沼小は、医療法人に貸付し、フリースクール及び診療所として活用している。
旧中村南小は、民間事業者に貸付し、小型電子機器製造の事業所及びシェアオフィスとして活用している。
旧山前南小は、公募中。

前年度の課題（Check）

①
・市民ニーズの変化、老朽化状況に合わせ、施設の統廃合・複合化に積極的かつ柔軟に取り組み、財源不足を解消するため将来更新等費用の削減を図る。
②
・旧山前南小学校の利活用の方法について、行財政検討委員会へ諮ったが、募集方法も含め再度検討となる。現在の募集方法では、利活用事業者の初期費用がかかるなどの条件が悪い。除却するためには、廃校にした当時地元からの利活用の要望もあり、地元の理解を得る必要があるなど課題がある。
・廃校を賃貸借しているが、建物の躯体や重要設備等の費用負担が市となっている。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
①
・旧科学教育センター改修工事
・総合福祉保健センター改修設計（芳賀広域事務組合）
・シルバー人材センター及び西側事務所解体設計
・青年女性会館解体設計
・旧図書館解体工事
②
・旧中村南小体育館解体工事
・旧山前南小の利活用について再検討

【２】結果と課題（Check）
①公共施設再配置計画に基づく事業については、計画どおり進められた。利用者の状況や施設の老朽化状況に合わせ、施設の統廃合・複合化に積極的かつ柔軟に取り組み、将来更新等費用の削減を図る。

②旧山前南小の利活用としては、部活動地域展開にあたり、市内中学校吹奏楽部の練習会場として利用していく。
その他廃校を賃貸借しているが、建物の躯体や重要設備等の費用負担が市となっているため、老朽化が進めば維持補修の費用負担が生じる可能性がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
①現在計画している再配置を着実に進めるとともに、公共施設総合管理計画の見直し時期となり、現状と課題を整理し、庁内会議等で検討しながら計画改訂に取り組んでいく。
令和８年度　シルバー人材センター、ｼﾙﾊﾞｰ西側事務所、青年女性会館の解体工事、総合福祉保健センターの改修工事、芳賀地区広域行政センターの解体設計

②廃校の利活用事業者の活用状況の適正管理に努め、施設の維持補修に努める。

（2）長期的な計画で検討すること
①人口減少による市民ニーズの変化、老朽化する施設の更新費用とともに維持管理にかかる費用の計画的な削減が必要となることから、施設の統廃合や複合化の再配置の実現に向け、施設所管課との調整・連携を図りながら、再配置計画の改訂を進めていく。
②廃校の利活用を継続的に進めるとともに、契約更新時に向け、今後の施設管理についての検討を進めていく。また、今後の小中学校の統廃合を見据え、新たに廃校となる校舎や体育館の利活用について関係課の協議が進むよう働きかけていく。